



発行人 福島県教職員組合
発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141
〔定価一部 20円〕
編集・責任者 瀬戸 禎子
e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp
http://www.f-t-u.or.jp
(この購読料は組合費に含まれています。)

トリプルガード
団体生命共済・医療共済
「死亡」「病気やケガの入院」に備えるなら!
中途契約募集中!
教職員共済

「自分らしく生きようプロジェクト」で夏休みの学びがスタート!



堅田香緒里さん

7月27日、人権について考える集会として、「自分らしく生きようプロジェクト」を開催しました。法政大学准教授の堅田香緒里さんから「子どもの貧困を問い直す」というテーマで講演をいただきました。世の中にあふれている婚活、妊活、保活、終活などの「活」は個人に「がんばらなければ」と思わせる社会状況の表れであり、国にとって都合がいいことだと指摘されていました。

また、講演を通して「子どもの貧困」に関して以下の問題点が挙げられました。

●「子どもの」というフレーミングがなされたことで一見重点的に取り組まれているように見えても、その反面で関連する様々な貧困への対応が手薄になっていること



- 貧困への対応として最も即時的効果があるのは「経済的支援」だが国は消極的なこと
 - 貧困の支援策として子ども個人の学力に働きかけようとしていること (貧困の原因を個人のものとし、自己責任としようとしている=国の責任逃れ)
- 講演の後、参加者からも様々な質問や意見が活発に出され、大変有意義な学習会でした。

学校の働き方は「時間」「業務」だけではない 「教育を語る会」で教育に関わる「お金」の問題を問う

午後は、「教育を語る会」を開催し、教職員の自己負担・教育費の保護者負担・教育予算等、学校の中での「お金」の問題に焦点を当て学校の内外それぞれの立場からご意見をいただきました。

司会

教育予算というと学校管理・備品・保護者負担などが問題になり、教職員の自己負担は問題視されてこなかった。「働き方改革」が叫ばれている今、問題点として考えていくべきでは?

学生から

高校の先生が「失敗を恐れるな」とアドバイスしてくれたことで、高校生平和大使として活動できた。高校が私立だったので、親へ負担をかけてしまったと感じている。現在奨学金で専門学校に通っているが返済は不安。勉強したくても「お金が無いから」とあきらめてしまう若者がいる。誰もが学ぶことができる社会に変えてほしい。

定年延長者から

今年から定年延長で働いている。5月の給料は手取りで10万円程度。同じ仕事をしているのにおかしい。定年延長についての丁寧な説明が無いのも腹立たしい。学校は、「伝統」が止められない。教員の監視の目があすぎ。不登校も増えている。

事務職員から

事務職員が学校で扱っている会計は、行政からの公費と保護者等からの私費。予算要求するには根拠が必要。消耗品などはニーズに応えるようにしているが限界がある。教職員が自己負担することに抵抗感が無くなってきているのではないかと。

「これだ」という結論を出すのは難しいですが、これから教職員をめざす人たちに、「自己負担は当たり前」という文化は残したくないという意見が大半でした。今の教職員の働き方については、そもそも改革が必要な状況の中で、教員の自己負担も超過勤務と同じ、「やりがい搾取」と同じ構図なのではないでしょうか。県教組は、今後、教育予算の拡大等について、各関係機関に求めていきます。



2024人事院勧告※

8月8日、2024年の人事院勧告が出されました。
給与に関しては以下の通りです。

※ 国家公務員の給与などについて、民間との差を調査・比較し、人事院が第三者機関として国に見直しを求める制度。この内容が県の人事委員会勧告に影響します。

- ① 月給を11,183円引上げ(官民格差2.76%)
- ② 一時金【ボーナス】の0.10月分引上げ(期末手当及び勤勉手当に0.05月ずつ均等に配分)
- ③ 初任給の引上げ(大卒総合職:約14.6% 29,300円)



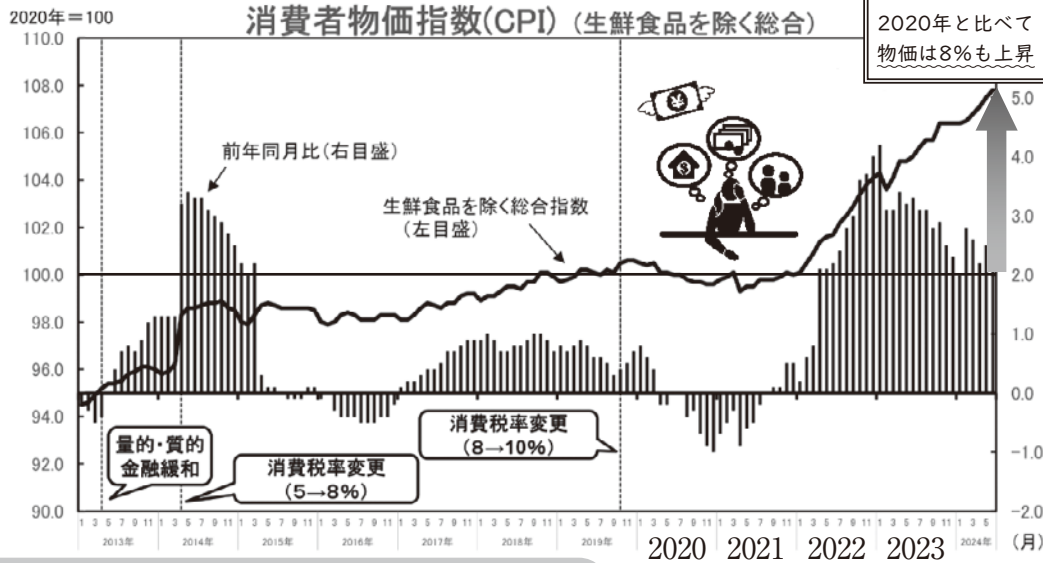
これだけお給料が上がるなら
ひとまず安心だね!



2020年度以降の勧告内容と20年度~24年度の通算

年度	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	20→24 通算比較
月例給 (前年比%)	0	0	+0.23	+0.96	+2.76	<u>+3.4%</u>
ボーナス (支給月数)	-0.05	-0.15	+0.10	+0.10	+0.10	<u>±0.10月</u>

久々のしっかりした賃上げだけど過去5年で考えたら…
しかも、この物価高! 全然追いついてないんだ。



物価高に追いつくにはまだまだ足りないんだね

そのためにも、みんなの思いを県教組に結集して
団結してガンバロー(×3)!!



各支部定期大会・総会が開催されました!

各支部定期大会・総会から出された意見等

- 市の教育予算が減らされている。保護者負担が大きくなるのは心配。
 - 小学校の荒れが報告されてきている。感情をコントロールできない子どもに関わる教職員や支援員など、危険と隣り合わせの状態。誰が守ってくれるのか。
 - 教員不足が深刻。病休者の補充が入らない。新たな病休者を出してしまうのでは…。
 - 土日に算数教室で学校を開放。教職員に負担は無いが、管理職が対応しなければならない。
- 各支部からの意見・要望等は、秋闘県教委交渉やキャラバンの地教委要請に生かしていきます。—

吉田書記次長のふくしまオルグ紀行⑩



周囲に組合加入を勧めたいけど、「組合費が…」と言われてしまうこと、あると思います。はじめて組合に加入してくださった方は、**加入から1年間の組合費が無料**になっています。

(正規採用の方のみ。臨時採用で加入された方は、正規採用となってから1年間が対象期間となります。)

Uさん (県中地方・小学校教員)

①「組合に入ろう」と思ったきっかけは？

「ずっと興味はあったのですが、『組合費が高い』という先入観から加入せずにいました。1年間組合費が発生しないと聞いたことが大きなきっかけです。」

②今のお仕事をめざしたきっかけは？

「自分の好きな競技(ソフトテニス)を通して、子どもたちを健やかに育てる側になり、ソフトテニス界に恩返しをしていく!!と思ったので。」

③これから、どんな学校(職場)になってほしいと考えますか？

「みんなで支え合っていく職場になってほしいです。ひとりで悩まず、ひとりで抱えず、ひとりでたたかわずにすむ職場に！」



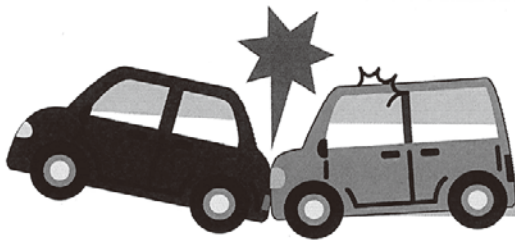
Uさんの職場では、青年の組合員さんが中心となって職場の方に組合の資料を回覧したり、職場がよくなるようさまざまな働きかけをしたりしてくれています。加入用紙に記入しながら「わたしも少しでも力になれば」と話してくださったことが印象的でした。加入ありがとうございます！



無料措置の間であっても、学習会などでの旅費支給の対象となります。加入してくれた方が「入ってよかった！」と思ってくれるよう、みんなで力を合わせていきましょう！

あんしん むすぶ 教職員共済

教職員共済は、学校・教育機関で働く方々を対象とする厚生労働省の認可を受けた共済生協です



事故を起こしても
等級ダウンしないって
本当なの？

お客様満足度

97.3%

※共済事故処理終了後にご契約者に回答いただいた「お客様満足度アンケート」2023年度の集計結果より

通勤中・公務中の事故なら

本当です！

等級ダウンなし！

※「通勤中」は補償充実コース6等級以上で1共済期間中1回限り適用。
「公務使用中」は全コースに適用。対象は教職員(職域)の方に限ります。

教職員共済の自動車共済は、通勤中や公務使用中の事故の場合※補償を受けても翌年の等級は据え置き。だから、掛金も上がらない。

教職員の自動車事故は、教職員のための共済にお任せください！

自動車共済

通勤中・公務使用中以外の事故でも

事故有係数の適用なし！

過失のない事故の場合でも

あんしんの弁護士費用特約！

大変な交渉を
任せられる！



●ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。承 24-07-01 (2408)

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 福島県事業所

〒960-8534 福島市上浜町 10-38 教育会館内

電話 (024) 523-3011 FAX (0120) 21-2940



学校で! Monster



みんなのひろば

～癒やしのひととき パート2～



キャンプの雰囲気作りにピッタリのオイルランタンですが、実はきちんと換気をすれば自宅でも使えます!

温かみのある火を見ながら呑む一杯がたまらない! 心落ち着く時間です。



(いわき支部 Sさん)

みんなのひろば 情報募集中!

このコーナーは、組合員のみなさんから、ほっこりしたり、感動したり、ためになったりするような素敵な情報を紹介しています(^ ^) V
たとえば…

- 私の一押し本や映画の紹介
- ぜひとも教えたい! 地元のディープなスポット
- 「孫・わが子自慢」「ペット自慢」「俳句」「短歌」「川柳」「絵手紙」「絵画」「ダジャレ」などなど、なんでも自慢!

LINE公式アカウント ID: @894amadj

メールや公式LINE、FAX(0120-17-9312)より
ぜひぜひ! お寄せください。



2024年 学校現場の働き方改革に関する意識調査

学校現場の働き方改革に関する職場環境についての調査です。この調査では、授業の持ちコマ数や時間外勤務、部活動の実態を明らかにすることで、「学校現場の実態」として、社会に発信するとともに、文科省や教育委員会との交渉・協議に活用し、「実感出来る働き方」へとつなげます。

多くの皆様のご協力をお願いいたします。職場のなかまをはじめ、多くの教職員に参加を促してください。

なお、今回の調査はフルタイム勤務の方を対象としています。

回答受付期限: **8/31(土)**

※設問は22問、所要時間は約10分です。



日教組
2024働き方調査